

平成28年度 見沼区対話集会開催概要（9月）

No.	「質問・要望・提案」の内容	「回答・見解・処理方針」の内容
1	<p>・熊本地震において、熊本市では組み立て式の簡易トイレやマンホールトイレ等の仮設トイレは使用されたのか。また、下水はいつ復旧したのか。</p>	<p>・熊本地震発生直後には、市内全域が断水となり、トイレ用水の供給が断たれていたため、整備が完了していた4校の避難場所では、マンホールトイレが設置されました。トイレ用水としては、学校のプールの水が使用されました。</p> <p>・断水については、地震から3日後の4月17日（日）には給水を再開し、その後、漏水対策を実施しながら、20日（水）には約8割が復旧しました。</p> <p>・断水によるトイレが使用できなかった期間は数日程度だったため、プールの水等をバケツに汲み置きして使用しており、さいたま市から支援物資として送った応急用簡易トイレの使用は確認できませんでした。</p> <p>【見沼区役所区民生活部総務課】</p>
2	<p>・避難場所においてノロウイルスなどの衛生面の対応が大変重要であると思う。既設トイレの他、マンホールトイレ・仮設トイレに手洗い設備や除菌用品の設置などの衛生対応の充実を図っていただきたい。</p>	<p>・避難所においてノロウイルス等の集団感染予防のため、既設の手洗い設備が機能するよう、水道設備の耐震化や、断水時の応急給水タンク・井戸の設置を行っています。マンホールトイレ・仮設トイレは設置場所の給排水の関係で、ポリタンクの活用やアルコールスプレー等による除菌による対応することとなります。</p> <p>今後は、これら備蓄品の活用や正しい手洗い・除菌方法についての普及や機材充実を図っていきます。</p> <p>【見沼区役所区民生活部総務課】</p>